

第3学年 社会科 学習の指針[シラバス]

1. 学習の目的

【歴史的分野】～歴史の大きな流れと各時代の特色について学習することを通して、3つの力をつける～

- (1) 各時代の特色を踏まえて歴史の大きな流れを理解し、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 歴史的なできごとの意義、時代の特色などを多面的・多角的に考え、課題を公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力をつける。
- (3) よりよい社会を実現できるように、歴史的できごとにもみられる課題を自分自身の問題として追究し解決しようとする態度を身に付け、自国の歴史への愛情と国民としての自覚、先人ならびに文化遺産の尊重とともに、国際協調の精神を身に付ける。

【公民的分野】～現代社会の見方・考え方について学習することを通して、3つの力をつける～

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考えたり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、それらを基に議論したりする力をつける。
- (3) 現代の社会的事象について、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を身に付け、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	【歴史的分野】 第5章 開国と近代日本の歩み 4 日清・日露戦争と近代産業	(1) 日清・日露戦争、条約改正などを基に、国際的地位が向上したことを理解する。 (2) 国際社会との関わりや近代産業の発展と近代文化の形成について、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考え、表現する。
	第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略 3 第二次世界大戦と日本	(1) 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 世界と我が国の動きを基に、軍部の台頭から戦争前の経緯と大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 (2) 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考え、表現する。
	第7章 現代の日本と世界 1 戦後日本の発展と国際社会 2 新たな時代の日本と世界	(1) 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設がすすめられたことを理解する。 我が国の経済や科学技術の発展によって国民生活が向上し、国際社会での我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。 (2) 日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代社会の様子を多面的・多角的に考え、表現する。 歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考え、構想し、表現する。
2 学期	【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち 1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方	(1) 現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などを理解する。現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 (2) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考え、表現する。 社会生活における物事の決定の仕方、個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考え、表現する。
	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障	(1) 人間の尊重についての考え方を深め、法の意義を理解する。日本国憲法の基本的原則について理解する。 (2) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考え、表現する。

	第3章 現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方自治と私たち	(1) 我が国の民主政治の仕組みのあらまし、地方自治の基本的な考え方について理解する。 (2) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について、多面的・多角的に考え、表現する。
	第4章 私たちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産と労働 3 市場経済の仕組みと金融 4 財政と国民の福祉 5 これからの経済と社会	(1) 経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義と労働基準法の精神、環境保全、社会保障の充実・安定化、財政及び租税の意義、納税の義務などについて、理解する。 (2) 個人や企業の経済活動における役割と責任や国や地方公共団体の役割などについて、多面的・多角的に考え、課題解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、議論したりする。
3 学 期	第5章 地球社会と私たち 1 国際社会の仕組み 2 さまざまな国際問題 3 これからの地球社会と日本	(1) 世界平和の実現等のために、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題解決のために経済的、技術的な協力が大切であることを理解する。 (2) 我が国の安全と防衛、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考え、表現する。

3. 評価

観 点	観点の内容（歴史）	観点の内容（公民）	評価の視点・方法
知識・技能	日本の歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	個人の尊厳と人権尊重の意義を正しく認識し、民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、理解を深めているとともに、資料から効果的に調べまとめることができる。	①プリントや課題レポート、提出物等の内容 ②テストの内容
思考・判断・表現	歴史的事象の意味や文化の特色などを多面的・多角的に考えたり、歴史に見られる課題を公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考えたり、現代社会に見られる課題を公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。	①授業での発表 ②プリントや課題レポート、提出物等の内容 ③テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	歴史に関する課題について、主体的に追究、解決しようとする態度を持つことができる。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする意識が持てる。	①授業での発表 ②提出物（ノート・プリントや課題レポート等） ③テストの内容

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 学習用具には教科書、資料集、A4 ノート（プリントファイル）、ワークなどがあります。毎時必要に応じて用意しましょう。
- ② 授業では、課題をよく把握し、先生の質問や指示をしっかりと聞いて作業したり考えたりしましょう。
- ③ 対話をする時と、自分（ひとり）で考える時をしっかりと区別しましょう。

(2) ノートやファイルの作り方

- ① ノートづくりや授業プリントづくりは教科担任の指示に従いましょう。
- ② 後で見返した時に自分がよくわかるように、気づいたことがあったら書きとめておくなど、工夫をしましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方（予習、復習、宿題等）

- ① 予習・・・できるだけ授業内容の教科書には目を通し、疑問点やわからない点を把握しておきましょう。
- ② 復習・・・自分のノートを見ながら、内容をもう一度自分で説明してみましょう。
- ③ 宿題・・・必要に応じて宿題を出すことがあります。